

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1170500480		
法人名	株式会社ウェルフェアクリエーション		
事業所名	ソレアド新白岡グループホーム		
所在地	埼玉県南埼玉郡白岡町野牛1228		
自己評価作成日	平成24年3月29日	評価結果市町村受理日	平成24年7月26日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kohyo-saitama.net/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ケアマネージメントサポートセンター		
所在地	埼玉県さいたま市中央区下落合五丁目10番5号		
訪問調査日	平成24年4月5日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居しているご利用者様が自宅で生活を送っているように、自分らしく安全、安心して毎日を送ることができる支援を心がけている
 季節の行事を通して時候の移り変わりを肌で感じていただけるように、日常的な外出を行っている家庭的なぬくもりと笑顔のあふれる介護を提供できるよう職員一同努力し、同じ目線で向き合いふれあうことで自分の住処とっていただけるよう努めている

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・事業所前に広がる季節の花や緑豊かな公園等周辺環境を活かし、日課の散歩や藤棚の下で食事をされたり陽だまりでおしゃべりを楽しまれている。又、近くの行楽地へのドライブや花見、コンビニやホームセンターでの買物、家族の協力を得て浅草・巣鴨などへの日帰り旅行など利用者の気分転換やストレス発散、五感への刺激の機会としての外出支援を多く設けられ、利用者の健康で明るい生活に結び付けられている。
 ・平成22年度の目標達成計画、災害時協力者の確保については、運営推進会議や定期防災訓練時に近隣住民に協力要請を行なうものの、訓練への参加は得られず、地域との協力体制構築に向けた継続的な取り組みが予定されている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが ○ 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼にて毎朝唱和し各階常に連携できるよう努めている	事業所理念のほか、職員全員でユニットごとの介護目標が年度毎に創られ、管理者と職員はそれらを共有し、利用者が笑顔で楽しく、安心、安全に過ごされることに、気配りされた利用者本位のサービスが実践されている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	各イベントの折、近隣の方々を招待している	納涼祭など事業所催事には地域の方を招いたり、日課の散歩では公園で地域の子供や近所の方と挨拶を交わしたり、おしゃべりなどを楽しまれている。又、書道や高校生の合唱ボランティアとの交流など、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう基盤づくりに取り組まれている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進委員会で話している		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的開催しサービスの幅を広げている	定期的に開催され、事業所からの報告のほか、参加者からも災害対策や外出企画、外部評価結果と課題解決についての話し合いが行われ、事業所運営やサービス向上に活かされている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	役場の福祉課、介護保険課の方々と連絡している	利用者の状況報告や相談の機会などに町担当者とのコミュニケーションを図られている。又、運営推進会議でも適宜事業所運営でのアドバイスを頂き、良好な協力関係を築かれている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修を行い職員には周知させている	法人全体でのリーダー研修や事業所の全体会議で身体拘束に関する理解を深める勉強会が行われ、身体拘束をしないケアに取り組まれている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修を行い理解し防止に努めている 施設長会議、リーダー会議で研修を受け、月1回の全体会議を行い防止に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	対象者なし		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約の際に説明させてもらった上で同意を得ている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進委員会やご家族が面会に見えたときなどに、要望等があれば出来る限りの事はするよう努めている	利用者については、日頃の関わりの時やアンケートで、家族とは面会時や事業所催事の際に意見・要望の聴き取りを行なっている。その意見や要望については職員間で話し合い、運営に反映されている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議やリーダー会議で職員の意見、要望を聞き実現に向けている	リーダー研修時や事業所の全体会議で意見・提案が求められている。又、職員個別での機会も設けられ、食事やレクリエーション企画などが提案され、運営に反映されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の状況に合わせてシフトを組むなどし、職員が働きやすい環境であるよう努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の状況を把握し、研修の機会を設け実施している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	勉強会の実施の際、相互訪問を計画し活動している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者様が困っていることがあった場合等は、話を傾聴し本人が落ち着くまで援助するように心がけている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の面会時、コミュニケーションを取り要望等出来る限りかなえられるように努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人のニーズとご家族の要望を把握した上で、介護計画を立てて支援にあたっている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様と一緒に食事を作ったり掃除をしたりなどしてともに生活をしているという意識で支援にあたっている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	施設を利用しているのは入居者様だけではなく、そのご家族も一緒だと言うことを職員に伝え、ご家族の事も考えながら援助するように心がけている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	支援はしているが認知症の進行により困難になっていくことがある	友人・知人の訪問、手紙のやり取りや電話の取り次ぎ、通い慣れた理髪店や馴染みのお店での買物、その他、都内に住む兄妹に会いに出かけるなど、関係が途切れないよう支援されている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の相性の善し悪しをはあくし、孤立しないよう席順を考えて把握する等している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院等で退所された方は定期的に本人、ご家族の様子を伺い、話を聞く等するよう努めている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時の情報以外にコミュニケーションを重視し、情報収集を行いその人らしい生活を送れるように支援している	思いや意向の把握が難しい利用者については、日頃の関わりの中で声をかけ、仕草や表情などから汲みとるよう努めている。又、利用者の生活歴を振り返るなどの取り組みも行なわれ、利用者本位に検討されている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にアセスメントを職員に把握するように周知徹底させ、カンファレンスを開き情報の共有に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日のバイタルチェックを始め、入浴時や排泄時の状態の変化を常に観察するように努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人のニーズとご家族の要望を聞いた上で、本当に必要な事なのかを話し合い、きちんと見極めてから介護計画を作成するようにしている カンファレンスを開き介護計画に変更が認められるときは検討を行う	利用者や家族には日頃の関わりの中で思いや意見を聴き取り、関係する職員全員で意見交換を行い、必要に応じて医師・看護師の意見も反映させ、現状に即した介護計画が作成されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に記録は取っているが入居者様の特徴や変化を具体的に記録している時と出ていない時がある 申し送りや連絡ノート等を活用し情報の共有を行っている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者様の状況に応じて必要な機能訓練を実施する等している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源を活用し出来るだけの豊かな生活が送れるように支援する		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎月2回協力医の往診があるが本人、家族の希望する病院へ通院できるよう支援している	入居時に利用者や家族の希望を尊重し、医療機関の選択をしていただいている。専門医等かかりつけ医の受診は家族対応を基本としているが、必要な情報提供を行ない、適切な診療が行なわれるよう支援されている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	入居者様の変化に気づいたらその都度看護師に報告、相談、対応している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	治療や状態について情報交換や早期通院に向け取り組んでいる		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	状況に応じて話し合い終末期契約書を取り交わして方針を共有している	本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した終末期を迎えられるよう話し合いのもと、意思確認書を取り交わし、方針を共有し取り組まれている。定期的に看取りに対する研修が実施され、看護師の配置など体制も整備されている。又、点滴や胃ろうなど医療処置を必要とする利用者の受入れをされている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的な救急救命研修を受講している		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署と協力し定期的な避難訓練を実施している	避難・通報・初期消火などの総合訓練(夜間の発生を含む)を定期的実施されている。又、全社的な取り組みとして、毎月定例での防火管理者会議が行われ、非常時連絡方法を改善するなど、体制整備を図られている。地域との協力体制は、地域住民への呼びかけは行なわれているが、訓練への参加は得られていない。	災害時、職員だけでの避難誘導には限界があると想定されることから、地域住民との合同訓練の実施と災害時協力者の確保に向けた継続的な取り組みを期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員1人1人が意識して対応している またミーティング等で人格の尊重、自尊心を大切にしたい援助を行うよう伝えている	ロールプレイングを中心としたリーダー研修が全社的な取り組みとして行われ、事業所内の研修にも活かされている。職員間でも利用者の誇りやプライバシーを損ねる言葉かけや行為には互いに注意し合うなどの取り組みが行なわれている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	何をすることも入居者様の意見を聞いた上で援助にあたるよう努めており、会話や表情で本人の思いをくみ取っている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様のペースに合わせた生活を送ってもらえるように支援している 職員の都合でなく入居者様主体で動くように伝えている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自分で選べる方には洋服は選んでもらい女性の方には女性らしさ、男性の方には男性らしさを支援している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理、配膳、食事、片付けは入居者様と職員と一緒にしている	利用者個々の力に合わせ、料理の準備・調理・後片付けなど職員と共に行っている。鮮魚を多くとり入れたメニューのほか、土・日曜日にはユニットごとに利用者の好みのメニューが提供されている。又、公園や庭など屋外でお弁当やバーベキューを楽しんだり、誕生会での手づくりケーキなど、利用者の好みや希望に沿った支援をされている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取量は毎回確認し、その方にあった食事量、食事形態で提供している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後ではないが朝夕2回入居者様1人1人の状態にあった口腔ケアを実施している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンの把握、声掛けの工夫を行い、自立に向けた取り組みを行っている	一人ひとりの力や排泄パターン・習慣を把握して、適宜、声かけを行い、トイレでの排泄や自立にむけた支援が行われている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄状態を常に確認、把握して入居者様に合ったケアを行うよう努めている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	週2回を目安にしているが体調や気分により入浴できない場合がある	入浴日と時間は設定されているが、利用者の希望に沿った支援をされている。体調不良で入浴できない場合は、足浴や清拭など状況に合わせて対応されるほか、ゆず湯などの季節湯も楽しまれている。又、利用者個々の力に合わせ、職員2人で介助体制をとるなど、安全面にも配慮されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様1人1人の状態に合わせて急速、安眠できるよう環境を整えている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情報をファイルし全員が見られるようにしている また投薬に変更がある場合は観察の強化を徹底している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	アセスメントや会話の中から得た情報をもとに、その方が趣味だったことを生活に取り入れ生活全体に役割分担をし支援する		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩やドライブ、買い物や外食など外の空気に触れる機会を作っている	日課の散歩やドライブ、コンビニやホームセンターでの買物など外出支援されている。その他、季節ごとの花見や家族の協力を得ての浅草・巣鴨などへの日帰り旅行など、利用者の希望を尊重した取り組みが行なわれている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理できる方は自分で買い物等していただいている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望には出来る限り応じる		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様の作品、写真等を掲示し楽しい空間にするよう努めているが、消防法の規制により現在検討中	利用者にとって不快や混乱を起こさぬよう、室温・音・採光など、きめ細かな配慮がとられている。リビングには桜や菜の花の貼り絵、クリスマス会や新年会などの写真、季節の花が飾られるなど季節感と明るく清潔感のある共用空間づくりがなされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	人間関係を考慮し席順を決めている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内には本人のなじみの物や好みの物を配置し居心地よく過ごしてもらえるようにしている	家族の写真や仏壇、馴染みのタンスや机・椅子、テレビなどが持ち込まれ、利用者が居心地良く、安心してゆっくり過ごせるよう工夫されているほか、毎日掃除の時間が設けられ、共用スペースを含め清潔維持に努められている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様1人1人の残存機能を活かしその方の出来ることは安全を確認した上で自立した生活が送れるよう工夫している		

(別紙4(2))

事業所名 ソレアド新白岡グループホーム

目標達成計画

作成日: 平成 24年 5月 11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時、職員だけの避難誘導には限界があると想定されます。地域住民との合同練習の実施、災害時、協力者の確保に向けた継続的な取り組みに欠けています。	地域の方々に対して、施設としての認知度を上げていきます。(直接、又は、間接的に施設利用者様や職員と関わっていただける機会を増やします)	近隣住民の方々や地域の方々も参加ができる催し物・企画(災害時、対応講習など)し、地域の方々も気軽に足を運んでいただけるように、宣伝・広告を行います。実際に参加をしていただけるように、お声をかけさせていただきます。そのような機会を多く設けます。	10ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。